

私たちは負けない、諦めない、
辺野古新基地を阻止するまで。

塩川港からの土砂搬出を止めよう!

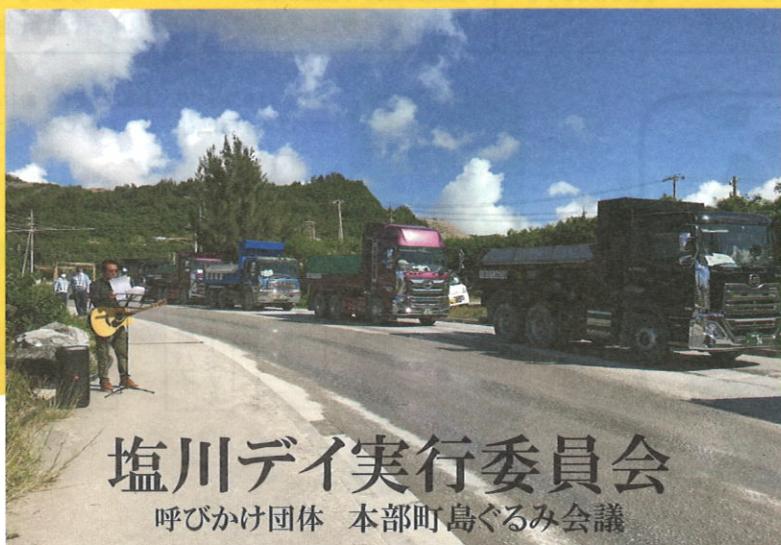
一人ひとりの一歩があれば、いつか工事は止まる。
さあ、本部町塩川港へ行こう！



第2回 塩川デイ

2月21^火、22^水 午前7時～午後5時

※ご都合のいい日、時間帯にご参加ください。



塩川デイ実行委員会

呼びかけ団体 本部町島ぐるみ会議

「塩川デイ」趣意書

辺野古の海に、今日も土砂が投入されていきます。あの透き通るような青い海に、赤い土が落とされています。沖縄がどんなに拒んでも、止めてほしいと頼んでも、埋め立て工事は続けられています。

土砂が運び出されているのは、本部半島にある安和桟橋と塩川港です。2017年12月から始まった塩川港の作業は、6年目に入りました。工事を少しでも遅らせたいという思いで、ダンプの前を横断する牛歩が続けられています。

塩川港の搬出作業は、朝の7時から夕方5時まで、作業がなかった土曜日も1年前からは月に2回程ダンプが来るようになりました。

コロナ禍の影響等で抗議に来る人が少なくなる中、本部町島ぐるみ会議のメンバーは、毎日塩川港での抗議行動を続けています。もしも塩川港に誰も抗議者がいなければ、1日で800台分以上の土砂が搬出される計算ですが、毎日の抗議により、現在は1日平均約600台に抑えています。地道な牛歩行動が、1日に約200台のダンプ（これは運搬船一隻分ほどに相当します）を減らしています。こうした陸での抗議行動や海上での抗議行動の結果、埋め立て工事は5年間で全体のわずか13%しか進んでいません。

昨年11月に行なった「塩川デイ」には、大勢の仲間が集まり、11/21は206台、11/22は238台と、搬出を大幅に減らすことができました。

土砂の仮置き場がある安和桟橋と違い、塩川港は、ダンプの台数が減れば即、辺野古への土砂投入を減らすことができます。

「復帰」50年、半世紀が過ぎたというのに、沖縄は国策の犠牲を強いられ続けています。

それでも私たちは負けないし、諦めません。

2月21日と22日の2日間、「第2回 塩川デイ」を行ないます。

塩川港からの土砂搬出を止めましょう！

一人ひとりの一歩があれば、いつか工事は止まる。

呼びかけ人 富樫守、奥間政則、池原盛助、伊波洋正、伊波實盛、山田八重子、照屋和美、山田博子、石原艶子、山田秀子、屋富祖昌子、知名智子、坂尾美知子、嶋原静子

賛同人 伊波洋一参議院議員、屋良朝博前衆議院議員

賛同団体 島ぐるみ会議名護、島ぐるみ会議大宜味、今帰仁村島ぐるみ会議、うるま市「島ぐるみ会議」、「建白書」を実現する西原町民会議、北中城村民会議、南城市島ぐるみ会議、島ぐるみ会議南風原、島ぐるみ会議八重瀬の会、憲法9条-世界へ未来へ連絡会、あるいは練馬、ティダの会、辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会、監視社会ならん！市民ネット沖縄、靖国神社問題委員会、沖縄県退職教職員会、千葉さんの裁判を支援する会、代沢九条の会

記

「第2回 塩川デイ」

日程▶ 2023年2月21日（火）、22日（水）午前7時～午後5時

場所▶ 本部町塩川港（沖縄県国頭郡本部町崎本部 3136-3）

くにがみぐんもとぶちょうさきもとぶ

《注意とお願い》

- ・雨具、飲み物等は各自でご用意ください。・12時～1時は作業が止まり、昼休みになります。
- ・個人で参加される方は、車または路線バスをご利用ください。
- ・名護方面から車で参加される方——塩川港の交差点が渋滞している際は、右車線を走り一旦交差点を通り過ぎ、Uターンして本部方向から右折で入ってください。
- ・港内入口は片道一車線ですので、追い抜きは出来ません。・港内の駐車は誘導係の指示に従ってください。

[塩川デイ実行委員会]

共同代表：仲宗根須磨子・上間一弘 呼びかけ団体：本部町島ぐるみ会議

Tel ; 090-9783-5926 Fax ; 0980-48-2180（阿波根）

この活動の継続のため、随時カンパをお願いしています。カンパをしていただく際は、郵便局の「払込取扱票」をお使いください。

ゆうちょ銀行	記号 17090 番号 15080971 名義人 阿波根美奈子	他金融機関から振込む際は 以下の内容を指定してください	店名 七〇八（ナナゼロハチ） 店番 708 預金種目 普通預金 口座番号 1508097
--------	------------------------------------	--------------------------------	---

